

1 単元 大単元「世界の中の日本」  
小単元「世界の未来と日本の役割」

2 学年 第6学年

3 単元（題材の）学習目標

グローバル化する世界の日本の役割について、地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えようとする態度を養う。

4 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。</li> <li>地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化する世界と日本の役割について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。</li> </ul>

5 単元（題材）の指導計画（全7時間）

時間	ねらい	主な学習活動・内容	資料	評価規準と方法
1	安心して暮らせる社会の理由について興味をもち、そのために使われている税金について、考えている。	親子で租税教室（税務署職員講師）に参加し、安全な社会が成り立っている仕組みについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>租税教室副教材本</li> <li>租税教室用DVD</li> </ul>	<b>【思・判・表】</b> 現在、安心して暮らせる社会について、税金が使われていることに気づき、税金の使い方について考えている。 （発言・ワークシート）
2	世界には、さまざまな課題があることに関心をもち、その解決に向けた学習問題を考え、表現する。	世界のさまざまな課題と解決に向けた取り組みを調べ、学習問題を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示用写真（紛争 文化遺産 地球温暖化 大気汚染 森林伐採 食糧不足教育）</li> </ul>	<b>【思・判・表】</b> 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、学習問題を見出している。 （発言・ノート）
3	国際連合の特色や各国機関の取り組み、日本人々の活動を調べることを通して、国際連合が行っていることや日本人々の活躍を理解する。	国際連合での日本人々の役割について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際連合憲章</li> <li>国際連合分担金の国別割合</li> <li>掲示用写真（平和維持活動に参加する自衛隊 ユニセフの活動）</li> </ul>	<b>【知・技】</b> 必要な情報を集め、読み取り、国際連合の役割や我が国の国際連合の一員としての活動について理解している。 （発言・ノート）
4	持続可能な社会の意味やSDGsなどの取り組みを調べることを通して、世界や日本には現地の人々と協力	インターネットや図書資料などを活用し、持続可能な開発目標について調べ	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示用写真（大潮で海水に浸かっている住宅 大気汚染）</li> </ul>	<b>【知・技】</b> 必要な情報を集め、読み取り、豊かさや環境保全を両立させるために、世

	して環境保全に努める多くの人がいることを理解する。	る。	・持続可能な開発目標 ・タブレット	界や日本の努力や活動について理解している。 (発言・ノート)
5	青年海外協力隊やNGOで活躍する人たちの話や資料から、日本の国際協力の様子について理解する。	インターネットや図書資料などを活用し、ODAやNGOについて調べる。	・掲示用写真 (青年海外協力隊の活動海外での医療活動国内で外国人の技能研修をしている様子) ・タブレット	<b>【知・技】</b> 必要な情報を集め、読み取り、我が国にはさまざまな分野で技術者を海外に派遣したり、国内に海外から研修生を受け入れたりしていることを理解している。 (発言・ノート)
6	調べたことをもとに学習問題について話し合い、国際社会での日本の役割について考えたことを表現する。	世界の課題を解決するために、日本が取り組んでいることをまとめる。	・ホワイトボード	<b>【思・判・表】</b> 国際社会における日本の役割について、友達と話し合い、日本の取り組みについて考えている。 (発言・ホワイトボード)
7 本 時	国際社会における課題に着目して、問いを見だし、問題を解決するために日本は将来どのような活動をしていくことが望ましいのかグループ活動を通して考える。	・世界の課題を解決するために、グループ活動を通して将来自分たちにできることを考える。	・租税教室副教材本 ・掲示用写真 (紛争 文化遺産 地球温暖化 大気汚染 森林伐採 食糧不足 教育) ・ワークシート	<b>【態度】</b> グループ活動を通して、今後我が国が国際社会において果たすべき役割を考えようとしている。 (ワークシート・発言)

6 本時の授業展開 (7 時間目)

\* 「評価規準」は、児童の学習状況を見取るための規準 (特に「おおむね満足できる」状況) を記す。

時間	○学習内容 ・学習活動	評価の観点			評価規準 (評価方法)	◇指導上の留意点 ◆使用教材
		知	思	主		
5 分	○税金の種類について確認をする。 ・租税教室副教材本を参考に国税や地方税について調べる。(個別) ○世界が抱えている課題について、捉える。(一斉) ・教科書やノートを参考に、世界の課題について出し合う。	○			・租税教室副読本で税金の種類について調べている。(観察)	◇全員が税金の種類について理解するために、租税教室副教材本を活用する。 ◇世界の中の日本という立場を税金の使い方から気づかせるために、国税と地方税の額の違いに着目させる。 ◆租税教室副教材本  ◇世界の課題について視覚的に捉えやすくするために、世界が抱えている課題が分かりやすい写真を張り出す。 ◆掲示用写真 (紛争 文化遺産 地球温暖化 大気汚染 森林伐採 食糧不足 教育)
めあて ミニ国際連合職員になって、世界の課題の解決策を考えよう。						
20 分	○興味のある課題について、具体的な解決策を考える。 ・グループで話し合い、課題を決める。(グループ) ・課題に沿った自分の考えをワークシートに記入する。(個別) ・自分の考えをグループで出し合い、よりよい解決策を作る。(グループ)			◎	・紛争、地球温暖化、大気汚染、森林伐採、食糧不足、教育のいずれかの課題に着目して、問題を捉え、その解決方法について考え、具体的な対策について表現し、主体的に問題解決しようとしている。(ワークシート・発言)	◇グループでの話し合いに意欲的に参加できるようにするために、個人の考えをもてるワークシートを活用する。 ◆ワークシート  ◇出し合った意見を視覚化するために、ホワイトボードを使用する。 ◆ホワイトボード
15 分	○各グループの解決策を発表し、共有する。(一斉) ・各グループで話し合っまとめた意見を発表したり、聞いたりする。 ・自分の考えと友達の比べ、考えを広げる。		○		・グループの考えを他のグループに分かりやすく、説得力のある伝え方で発表している。(観察)	◇各グループでまとめた意見をクラスで共有するため、大型テレビにホワイトボードを映し出す。 ◆大型テレビ
5 分	○本時の振り返りを行う。(個別) ・友達の意見の良いところを見つける。 ・自分の考えの変化に気付く。			○	・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。(観察)	◇ミニ国際連盟の職員として提案ができたことを称賛する。 ◇出されたアイデアを実現させるには、お金が必要なことに触れ、税金の必要性について考えるよう助言する。 ◇世界で日本が活躍するためには、税金が必要なことについて触れる。 ◇キャリア教育につなげるため、将来の仕事につながることを意識できるように助言する。

**ミニ国際連合職員になって世界の課題の解決案を考えよう。**

**名前**

**グループで決めた課題**

**解決に向けてどんなことが出来るか考えよう(自分の考え)**


**まとめ**


**振り返り**

グループの友達と相談してよかったことやほかのグループの発表を聞いて、思ったことや考えたことなど


## 8 成果と課題

### 成果

- ・親子で租税教室に参加したことで、現在の納税者としての保護者と未来の納税者としての子供たちの問題意識を同じ目線で持たせることができた。また、家庭で税金について話し合うきっかけとなった。
- ・社会や総合、特別活動など高学年で学習した内容と租税教育を関連付けることで、教科横断的に学びを深めることができた。
- ・租税教育を一つの軸として、複数教科の6年間の学習を活かし、よりよい社会について考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うことができた。
- ・租税教室では、税務署の方が、専門的な知識や内容をいろいろな教材で分かりやすく説明してくれたため、税金制度や税金の使い方など児童の理解が深まり、税金について興味が高まった。
- ・税金の使い方を考えることで、税金を使って社会をよりよくしようとする仕事（公務員や議員など）について興味をもつ児童が増え、将来の仕事について考える幅が広がった。

### 課題

- ・租税教育を活用し、社会や総合、学級活動など他教科にわたって学習内容を高めていく学習では、見直しをもって年間の学習計画に位置付けていくことが大切となる。
- ・各種教育（キャリア教育や租税教育など）は、教科等を横断的に指導できる反面、各教科の指導時期や指導計画をしっかりと把握し、児童の学習意欲や興味を計画的に高めておくと指導がより効果的になる。
- ・家庭との連携を深めるために、学習内容をいろいろな方法で家庭にも知らせる必要がある。